

事務事業評価

平成 24 年度

担当グループ まちづくり管理G

基本事項	事務事業名	花いっぱい街づくり事業					整理番号	1601
	根拠法令等						実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第9章 自立した地域コミュニティづくりを支援する	予算科目	8 款 5 項 2 目	<input type="radio"/> 継続 <input checked="" type="radio"/> 新規			
事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	島原市民及び市を訪れる観光客にとって、心豊かな安らぎの環境を整えるため、市民が中心となり地域のまちづくりを考え市全体を花いっぱいにする運動を推進する。					計画期間	始期 平成 23 年から 終期 平成 27 年まで
	事業の対象及び目的 (誰に、何を、どのような状態にしたいのか)	島原市民が中心となって地域ごとの花いっぱい運動の必要経費を助成する。						
	目的達成のための手段・方法	島原市花いっぱい運動推進委員会、各地区花いっぱい運動実行委員会の設置し、基本計画を策定する。						
	成果指標 (意図する状態の達成度を図るものさし)	名称等(内容)		単位	22年度	23年度	24年度	
		①花いっぱい運動基本計画の策定	目標	件		0	7	
			実績	件		0	0	
			達成率	%			0.0	
②苗木の植栽 H23 サクラ(ソメイヨシノ) 100本(水無川導流堤) H24 サクラ(ソメイヨシノ) 100本(水無川導流堤)		目標	本		100	100		
		実績	本		100	100		
	達成率	%		100.0	100.0			
活動指標 (意図する状態達成のために実施する活動等)	①実行委員会の開催		目標	地区		7		
	②		実績	地区		5		
事業費等の推移	年度		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画
	①直接事業費(千円)					1,000	4,000	7,000
	財源内訳	国県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	0	0	0	1,000	4,000	7,000
	②従事職員給与費 b1×b2		1,073	1,074	1,075	1,085	1,092	0
	従事職員数(人) b1		0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
	職員平均人件費 b2		7,153	7,162	7,168	7,236	7,277	
事業費合計 ① + ②		1,073	1,074	1,075	2,085	5,092	7,000	

【1次評価】

◎事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
目的 妥当性	①住民ニーズの変化等により事業の必要性や役割は変わっていないか	A=変わっていない B=一部変わった C=変わった 心豊かな安らぎの環境を整えるため、花いっぱい運動を展開する必要がある。	判定 A
	②事業を民間（NPO、市民、ボランティア等）に任せるとはできないか	A=可能でない B=一部は可能 C=可能である 市民を主体とした運動へ展開する。	B
	③対象等は事業目的に見合っているか、拡大や絞込む必要はないか、見直しによる費用対効果の向上が図られないか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 現在、花いっぱい運動実行委員会を立ち上げ活動案の作成を行っている。	A
有効性	④事業の実施により初期の目的や目標がどの程度達成されているか	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 現在、各地域別に花いっぱい運動実行委員会を立ち上げ、実行可能な活動案の作成を行っている。	A
	⑤成果の状況を踏まえ、手段等を工夫したり事業内容を見直すことで、成果をさらに向上させる余地はありませんか	A=十分成果が得られている B=検討の余地あり C=見直しが必要 現在、各地域別に花いっぱい運動実行委員会を立ち上げ、実行可能な活動案の作成を行っている。	A
効率性	⑥活動量や成果を下げずにコストを削減できないか、投入された資源量に見合う結果が得られているか、改善の余地はありませんか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 花いっぱい運動実行委員会を立ち上げ活動案の作成を行っている。	A
	⑦事業の効率性を上げるため、他の事業との統合や事務の省力化など見直す余地はありませんか	A=見直す余地はない B=統合等、検討の余地あり C=見直しが必要 花いっぱい運動実行委員会の中で、既存の活動等も含め検討している。	A
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 花いっぱい運動実行委員会の中で、既存の活動等も含め検討している。	A
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されていますか。全体コストから見て受益者の負担割合は適切か、使用料等の見直しの余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 市内全域を対象としている。	A
⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取組む余地がないか A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要			
			判定評点平均 A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算 2.89

◎総合評価

評価結果	● A 継続実施(特段の見直しは行わない)	判断理由 花いっぱい運動実行委員会を立ち上げ、基本計画の検討に着手したところであり、今年度中に、島原市花いっぱい運動基本計画を策定する予定である。
	B 改善・見直しを行う	
	○ B1 事業規模の拡充	
	○ B2 事業規模の縮小	
	○ B3 事業内容の改善・見直し	
	○ B4 その他の見直し	
○ C 休止(隔年実施などへの変更)		
○ D 廃止(終期の設定等を含む)		
今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等)市役所主導で検討を進めているが、今後、住民主体に移行していく必要がある。	
<small>総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載ください。 本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。</small>		

【2次評価】

総合判定	B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善
備考	市を訪れる観光客に心豊かな安らぎ環境を提供するためにも、行政主導ではなく、住民主体の運動に移行することが求められる。また、そうすることにより息の長い継続した活動が期待される。

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減 (千円)
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	